



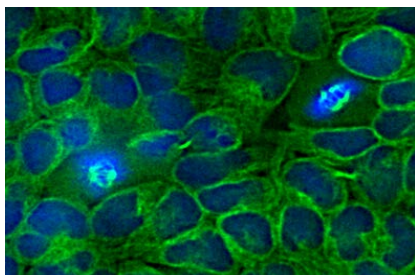
研究課題：①化合物ライブラリーを使用した抗がん剤リードとしての新規Cdt1-geminin阻害剤の探索 ②新規微小管阻害剤による抗がん剤開発



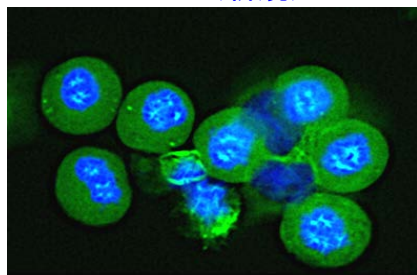
機器管理者 (Biacore X100、BioRadリアルタイムPCR解析装置) : 藤田雅俊 (教授)
所属 : 九州大学大学院薬学研究院医薬細胞生化学分野

カルバゾール及びベンゾヒドラジド骨格を持つ新規微小管阻害性抗がん剤の開発

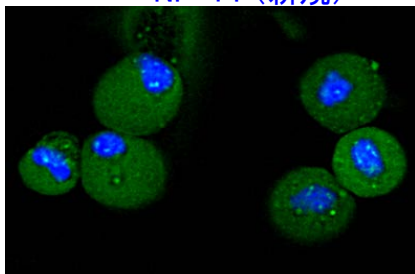
コントロール



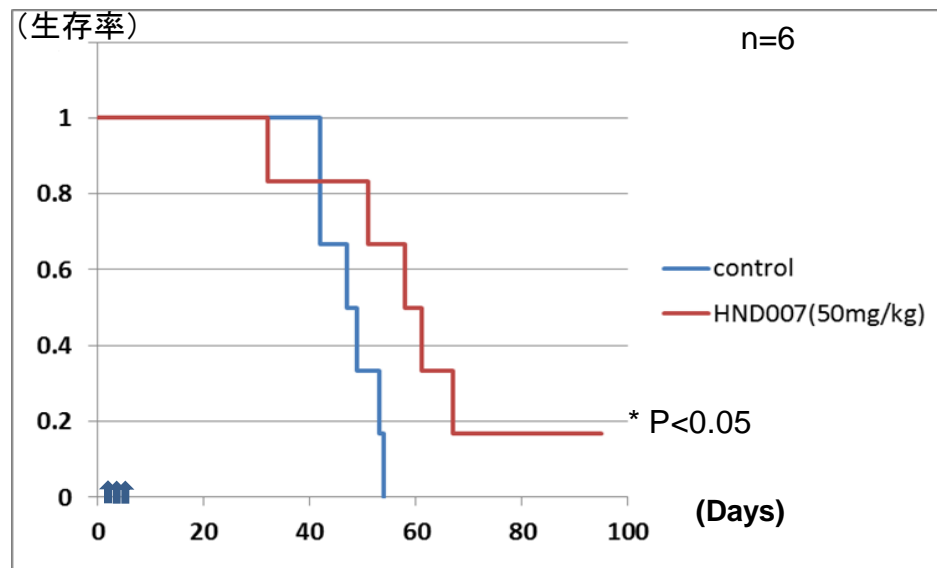
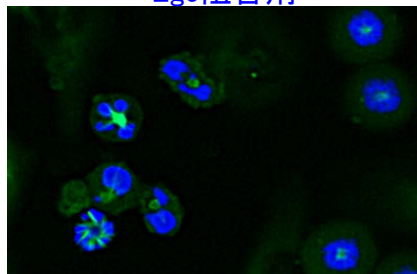
NP-10 (新規)



NP-14 (新規)



Eg5阻害剤



HeLa細胞ヌードマウス移植系を用いた治療実験

新規抗がん剤はHeLa細胞を分裂期で停止させる

現在までに得られているデータから、NP-10、NP-14、HND007は新規微小管阻害剤と考えられる。その一部はチューブリン重合阻害活性で説明できるが、それだけでは説明できない。他の分裂期キネシン阻害活性の有無を含め、さらに検討を行っている。